

宇都宮市立桜小学校 学力向上に向けた学校全体での取組

★学校全体で、重点を置いて取り組んでいること

重点的な取組	取組の具体的な内容	取組に関わる調査結果
基礎・基本の確実な定着と基本的な学習態度の徹底	・宮っ子学カステップアップシート(漢字・計算・言葉・図形)を行う日を保護者に知らせて実施する。 ・学習がんばり週間を年2回設けて家庭学習の定着を図る。 ・学年の発達の段階に合わせて、学習の準備や授業中について「桜小の学習のきまり」を掲示する。	・「学習に対して、自分から進んで取り組んでいる」の肯定割合が93.2%で、市の肯定割合を大きく上回っている。また、「授業への取り組みについて」の項目や「学習に対する気持ちや態度」の項目でも市の平均を大きく上回っており、学ぶことの楽しさを感じていることがわかる。 ・「新しく習ったことは何度も繰り返し練習する」「テストでまちがえた問題は、もう一度やり直している」では、それぞれ、0.8、1.4ポイント低かったが、「習ったことをその日のうちに復習している」「自分で計画を立てて家庭学習に取り組んでいる」では、市の肯定割合を上回った。
・自分の考えを言葉や文章でまとめ表現したり、それをもとに話し合ったりしながら、学びを広げ、深める授業(言語活動の充実)展開	・学びのツールとして、自分の考えを相手に分かりやすくまとめたり、友達の意見を共有したりして学びを深めるタブレットの効果的な活用を図る。	・パソコンを使った学習については「情報収集」「情報発信」「文章入力」については市の肯定割合を上回った。しかし、「パソコンを使ってまとめること」や「相手に分かりやすく自分の考えや調べたことをつたえること」に関しては4.6ポイント低かった。「グループの話し合いに自分から進んで参加している」の項目でも5.5ポイント低い。

★国・県・市の結果を踏まえての次年度の方向性

宿題や家庭学習に取り組む児童が多い。今後、家庭学習の内容を主体的に取り組めるような課題を設定していく。自分の興味のあることを追究することも良い学習であるが、間違えた問題を大切に扱い、学校で、家庭でもう一度確認することで学力として定着していくのではないかと考える。また、県のテストの結果より、振り返る活動に課題が見られたので、振り返りの視点を与えたり、振り返り後に自身の課題として学習にと繋げたりする等、指導の工夫をしていく必要がある。話し合う活動については学年によって差が見られた。話し合うことで学びが広まったり、深まったりすることはとても有意義である。自分の考えを言葉や文章でまとめ表現することは、どの教科でも大切なことなので、引き続き取り組んでいきたい。